

第3回日本病院前救急救命学会総会・学術集会  
プログラム



日時：2017年5月28日（日）8:30～12:30

場所：東京ビッグサイト第6会場（7階701+702）

## 【プログラム】

8:30-9:30

日本病院前救急救命学会総会

9:30-9:50

第3回日本病院前救急救命学会学術集会 会長講演

日本体育大学救急蘇生・災害医療学研究室 鈴木健介

9:50-11:10

ワークショップ「初めの研究～経験を根拠に～」

大阪大学大学院医学系研究科/グローニンゲン大学医学研究所 坂庭嶺人

11:10-12:22

一般演題

座長 弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学科 中川貴仁

国士舘大学体育学部スポーツ医科学科 喜熨斗智也

1.熊本地震から学んだこと

熊本市消防局 西岡 和男

2.僕の前に道はない、僕の後ろに道はできる

鹿島地方事務組合消防本部メディカル・アドバイザー 鶴岡信

3.興行イベントにおける民間救急救命士を活用した病院前救護体制の取り組み

国士舘大学防災・救急救助総合研究所 上杉純平

4.病院所属救急救命士が担うロジスティックスの重要性

医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 長橋和希

5.日本臨床救急医学会提言に対する DNAR の対応について

石橋地区消防組合 北村浩一

6.救急隊による病院前 12 誘導心電計の活用と教育

日本救急システム株式会社 大谷浩史

7.病院救急救命士の役割と今後の方向性

社会医療法人緑泉会 米盛病院 古賀司

8.大学生における防災意識についての調査

国士舘大学体育学部スポーツ医科学科 藤田莉乃

9.救急救命士学生による早期体験実習～米国シアトル救急車同乗実習の効果～

日本体育大学保健医療学部救急医療学科 齋藤千真

12:22-12:30

クロージング「病院前救急救命学会の今後の挑戦」

日本病院前救急救命学会 会長 坂田武

## 演者の皆様へのご案内

ご発表は口演での PC プレゼンテーションとなります。

発表方法は、舞台上に設置のキーボード、マウスにてご自身で操作頂く形式となります。

### 【メディア持込の場合】

- ・データは USB フラッシュメモリに保存してお持ちください。
- ・PC 受付で用意している PC は、Windows 7 の Power Point2003・2007・2010、2013 です。

- ・OS 標準フォントをご使用ください。

(MS ゴシック、MS 明朝、Times New Roman、Century 等)

- ・プレゼンテーションに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は、必ずリンクさせている元のデータも一緒にフォルダに保存し、作成した PC とは別の PC にて事前に動作確認をお願い致します。

- ・お預かりいたしましたデータは、学会終了後、責任を持って消去いたします。

### 【PC 本体持込の場合】

- ・Macintosh をご使用の場合には、ご自身の PC 本体をお持ちください。
- ・動画をご利用の方は、必ずご自身の PC をお持ちください。
- ・プロジェクターのモニター端子は、ミニ D-Sub15 ピンです。変換コネクタが必要な場合は、必ずご持参ください。

- ・電源アダプターを必ずご持参ください。

- ・スムーズな進行をするために、PowerPoint 付属機能の「発表者ツール」の使用は控えください。

- ・PC トラブルに備え、USB フラッシュメモリに保存した発表データを別途持参ください。

- ・スクリーンセ이버ならびに省電力設定は予め解除してください。

- ・発表終了後、発表会場内オペレーター席にて PC をご返却致します。

### 【PC 受付】

ご来場の際は第 20 回日本臨床救急医学会総会・学術集会の PC 受付にお立寄り頂きご発表データの試写をお願い申し上げます。

ご発表の 1 時間前までには試写をお済ませください。

### 【発表時間】

口演時間は下記のとおりとなります。

一般演題：発表 6 分、質疑 2 分 計 8 分

参加者の皆様へ

**【参加受付】**

事前参加登録は設けておりませんので、当日、会場にて参加登録をお願いします。  
参加名簿にご記名の上入場してください。記入している方のみ入場可能です。

**【参加費】**

本学術集会は第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会の併設企画として開催いたします。そのため、第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会の参加費を支払っている方は自由に入場が可能です。

**【会場内でのご注意】**

写真撮影・録音・録画は許可を受けたもの以外は禁止です。

会場内では携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。

**【日本病院前救急救命学会 入会手続き】**

本総会の参加者と本学術集会の演者（共同演者含む）は、日本病院前救急救命学会会員に限られます。※但し、学生セッションの演者は除きます。

入会金：5,000円、年会費：5,000円になります。

以下のQRコードから必要事項入力し送信してください。

ご登録頂いたご住所に振込用紙を送付致しますので、入会金・年会費をお振り込み下さい。お振込が確認できた段階で会員登録致します。

\*会員登録作業は月2回のため、お待たせすることがございます。また、お振込確認後の会員登録が完了した旨の連絡は致しませんので、ご了承下さいますよう、お願い申し上げます。



会長講演「次世代への挑戦」 ～Challenge to the next generation～

鈴木健介<sup>1)</sup>

1) 日本体育大学救急蘇生・災害医療学研究室

第3回日本病院前救急救命学会学術集会会長

この度、第3回日本病院前救急救命学会・学術集会の会長を務めさせて頂くことになりました。第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会会長の坂本哲也先生をはじめ、病院前救急救命に関わる全ての方に心より感謝を申し上げます。

日本病院前救急救命学会は、1.救急救命士として専門資格の自覚を持ち、自律をする、2.救急救命士の活動の根拠を構築する、3.救急救命士の資格を活かした「社会貢献」を目指す、という目的・目標を掲げ、2年前に設立され活動をしています。

病院前救急救命というフィールドでは、消防機関だけでなく海上保安庁や自衛隊など様々な公的機関で活躍する場が注目されてきました。現在では、ドクターカーや病院間搬送などの医療機関や、救急救命業務を行う民間企業など多様なフィールドで挑戦を続ける救急救命士がいます。今後、2020年東京オリンピックや2025年の超高齢化社会など今まで経験をしたことがない課題や問題に対して知恵を出し合い挑戦を続けていく必要があると強く感じています。

そこで、今回のテーマは「次世代への挑戦」とさせて頂きました。様々な分野で挑戦をし続けている救急救命士や、将来挑戦をする救急救命士学生の発表を通して、次世代に向けて本学会の挑戦を明確にしていきます。また、「救急」・「災害」・「国際」を柱に、病院前救急救命領域の学術的な挑戦について講演させて頂きます。

初めの研究～経験を根拠に～

坂庭嶺人<sup>1)</sup>

1) 大阪大学大学院医学系研究科/グローニンゲン大学医学研究所

近年、日本国内外において「病院前救急救命領域の専門性を社会全体に還元できる者」「臨床・疫学研究を実施できる者」が求められている。なぜこのような人材が必要とされるのか、どのような役割を担うのかを知ることで、経験を根拠に変える必要性が明確となる。

本ワークショップでは、実例と社会的意義の具体例を解説するとともに、「臨床・疫学研究（根拠なき曖昧）」をテーマに、初めて研究を行う者を対象とした模擬演習を試みる。

### 【内容】

JRC 蘇生ガイドライン 2015 において引用された臨床・疫学研究の解説後、

①臨床・疫学研究（普段の救急活動における疑問など）

②臨床・疫学研究が明らかになった時、何がどう変わるか？

③臨床・疫学研究を明らかにする方法を立案する

を検討する。会場にいるすべての方に参加して頂き、実際の事例を解説しながら、

経験を根拠にするための初めの研究を考える。

### 【タイムテーブル】

時間	内容
9:50～10:20	臨床・疫学研究（Clinical Study）とは
10:20～10:25	ワークショップ① 臨床・疫学研究を考える
10:25～10:35	①の解説
10:35～10:40	ワークショップ②立案方法の検討
10:40～10:50	②の解説
10:50～10:55	ワークショップ③ 臨床・疫学研究と立案方法の検討
10:55～11:05	③の解説
11:05～11:10	質疑応答・まとめ